

# 行政視察報告書

令和7年2月14日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 村山さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 行政視察
2. 視察期間 令和7年2月12日(水)～2月12日(水)
3. 視察場所及び目的  
①東京都東大和市どろんこ会・保育、児童発達支援室について

### 4. 調査内容感想等

#### ・視察の目的

保育園と児童発達支援センターが同じ施設内にある、どろんこ保育園と児童発達支援室つむぎの取り組みや子どもたちの日常の調査研究

#### ・視察の内容

法人の説明や施設の概要をお聞きした後、施設内を案内いただいた。  
園児たちは外遊びやお絵かきなど自由に活動しており、印象的だったのは子どもも大人も裸足だったこと。園庭は一般的な運動場ではなく、芝生や小山のような起伏があり、ヤギや鶏が飼育されており、小さな圃場もあった。  
給食の時間は園庭やテラスに机や椅子を出して外で食べておられたが、そんな中でもまだ遊んでいる子ども。本人が納得して給食に向かえるよう、最低限の声

かけにされていた。脳性まひの子やダウン症の子たちもほかのことと同じ場で同じように過ごしているのが印象的だった。

様々なことにおいて、大人が子どもたちに任せて待つという感じを受けた。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

保育園と児童発達支援室が同じ施設にあるということは、お子さんにとっても保護者にとっても良いことである。重度の障害があったり、医療ケアが必要なお子さんは受け入れが難しいケースがあるが、同年代のいろんなお子さんと交わることは、予想以上の成長につながる。当市でも療育教室に通う必要性があるお子さんが増え続けているが、年長時まで通い続けることが難しくなっている現状を考えると、さらに民間の力を借りることも必要になってくるのではないかと考える。専門的知識や専門人材という強みを当市の子どもたちのために活用されることも含め、児童発達支援の拡充を要望したい。